

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）
2 指定管理者	公益財団法人 仙台市市民文化事業団
3 指定期間	平成29年(2017)4月1日から令和4年(2022)3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度 17,134人（前年度比 50.2%） 令和元年度 34,122人 平成30年度 38,729人
	《事業》 富沢遺跡の保存・公開事業、旧石器時代の復元林の維持管理・公開事業、年4回の企画展を含む展示事業、普及啓発事業、調査研究事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 110,704千円 （ 107,192千円） ・ その他市が負担した費用 330千円 （ 37,748千円） （ ）は前年度決算額
	《収入》 ・ 使用料収入 3,362千円 （ 6,031千円） ・ その他収入 178千円 （ 191千円）
6 利用者の声	《実施状況》 通年で来館者アンケートを実施 令和2年12月1日～22日まで展示や事業内容、職員の対応等についてのアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、富沢遺跡の保存・公開と復元林の維持活用等について職員が十分理解している。また、展示事業や体験・講座などの普及啓発事業、学校との連携、資料の保管・調査を通して、本市の歴史文化の保護・向上といった目的を達成している。 なお、学校等と連携し学習機会の充実や学習支援を行っている点を加点評価する。 市内の小中学校と施設間のバス代を補助する利用学習事業について、バスの利用定員の半数での運行を提案し、コロナ禍における安全に実施できる環境を整え、参加校を再度募るなど、施設の学習機会を広げるための努力は評価に値する。	30/27
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績・配置状況は適切であり、指定管理料も適正に執行されている。個人情報の保護、事故防止や事故・災害発生時の対応体制も確立され、実際に事故等が発生した際は迅速に報告書が提出されている。また、毎朝の職員朝礼が行われており、連絡事項だけでなく、研修内容や事故発生時の対応などの情報共有が徹底されている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	建物や設備が適切に管理され、利用者にとって快適かつ安全に過ごせる環境を保持し、仙台市環境行動計画に則った取組みが行われている。地下展示室の遺構保存については、日常の温湿度管理や観察と共に保存処理検討会の指導を受けながら、適切に管理している。野外展示である2万年前の森を復元した「氷河期の森」についても、日常的な観察と共に植生検討会の指導を受けながら、病害虫の駆除や植栽の手入れを行い、適切に維持している。	24/24

IV サービスの質の向上	職員の接客マナーや利用者への受付・案内業務は良好である。パンフレットやチラシなど館独自の紙媒体の作成・配布、市政だより、ホームページやFacebookなどのウェブサイトの運営など幅広い広報手段を活用して、広い世代に情報を発信している。また、今年度からはYouTubeでイベントなどの動画配信も開始し、臨時休館中及び移動を自粛し来館できない市民に対する学習機会の創出に努めた。	28/28
V 施設固有の基準	協定書や仕様書等に基づき適切に施設を管理すると共に、事業計画書に従って適切に事業を実施している。新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ、学校などの外部機関と連携して事業を展開し、地域社会とも良好な関係を維持している。なお、普及啓発事業（自主事業）について下記の点を加点評価する。 ①「親子でつくろう古代米」②「ミュージアムシアター 狩人登場」①当イベントは土地所有者、近隣住民、近隣学校との良好な関係の上に成り立つ地域連携事業である。親子共同での環境学習・歴史学習・生活学習の機会を提供しており、学習効果・満足度ともに高いことから当事業を評価する。②演劇という手段によって、遺構に残された焚火や石器づくりといった人類活動の痕跡を来館者に対して実際的かつ印象的に示すことができる展示である。コロナ禍における制限にも柔軟に対応しながら、新鮮で魅力的な展示が継続している点を評価する。	15/14

三 評価総括

《指定管理者（仙台市市民文化事業団）による自己評価》	
<p>管理運営にあたっては、所管課と協議しながら協定書等に基づき適切に行った。新型コロナウイルス感染拡大対策として、仙台市ガイドラインに準じた独自の施設管理マニュアル・団体予約者への利用案内を作成したほか、恒常的な消毒作業・パーティション設置・注意喚起表示等も行った。また空調機器・衛生設備・消防防災設備等の修繕・改修、展示照明の一部LED化等、長寿命化対策工事を念頭にした施設・設備の管理を心掛けた。地下展示室の遺構保存処理・野外展示の維持管理は、専門家の指導を受けながら適正に進めた。</p> <p>事業は、新型コロナウイルス感染拡大により、当初の計画を大幅に変更した。展示事業では、県外からの資料借用が困難となったため特別企画展の規模を縮小し、企画展を4回開催した。調査研究事業は、その成果を調査研究報告2020に報告した。普及啓発事業は、感染拡大予防に最大限留意しながら、生涯学習施設としての役割を果たすことに注力した。1回あたりの参加者数を制限しつつ、実施回数を増やすことで学習機会をできる限り減らさないよう工夫し、地底の森特別講座、体験！発見！地底の森等を開催した。事業団自主財源事業も5件実施し、いずれも高評価を得た。学校連携は利用学習事業、中学生職場体験等を継続しながら、学校からの要望を受け出前型の授業や教員研修も行った。また、学校の部活動や生涯学習グループ活動の機会が著しく減少したことを踏まえ、地元高校や地域住民グループ等に当館イベントへの参加や協力を積極的に依頼し、活動機会の提供も心掛けた。</p> <p>今後も新型コロナウイルス感染拡大対策を講じ、生涯学習施設としての機能を強化し、地域と連携・協力しながら地域の魅力を現出させる活動を推進していく。また開館25周年を迎え県内外の博物館等と連携し、オンライン等も活用しながら富沢遺跡の価値を発信する等の新たな試み続け、仙台市の文化行政の一端を担っていきたい。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の運営管理体制については、協定書や仕様書等に基づき適切に業務が行われている。施設の維持管理については、空調機器や建物などの老朽化が見られるため、日常の監視を続け、災害や老朽化による設備の異常があれば、迅速に対応している。富沢遺跡の保存管理については、温湿度や塵埃等の日常管理と観察を継続し、旧石器時代の復元林についても日常管理を欠かさず、どちらも専門家の指導を受けて適切な手法による維持管理を実施している。今後も遺跡の保存と施設の安全性の向上を図りながら、長期的な施設の管理・改修計画を検討することを望む。</p> <p>展示・展覧会については、新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館や規模縮小を余儀なくされ、利用者数も例年の半分程度に減少しているが、感染症流行下での運用マニュアルを整備し、安全・安心な運営ができていく。また、YouTubeを利用しイベントの様子などの動画を提供する取り組みを始めており、オンライン配信などを含めた今後の博物館活動に期待したい。学校連携や多様な学習機会の提供についても、小中学校の利用学習や出前授業などの普及啓発事業を安全対策を施しながら継続しており、施設の設置目的に沿った郷土の歴史・文化に対する理解を深める活動をしているものと評価する。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症流行に伴い、ボランティアによる解説が来館者に提供できないため、ガイド内容をチラシにまとめて配布した。また、野外展示の氷河期の森は臨時休館中も開放していたため、展示植物をわかりやすく紹介する表示を作成した。</p>